

# wacaf

感動空間 ♥ 文化で元気!!



神倉神社・ゴトビキ岩(新宮市)  
熊野権現最初の降臨地とされ、参道の頂点にそびえるゴトビキ岩を御神体とする。  
毎年2月6日に行われる、故中上健次氏も参加したことがあるお燈まつりの舞台としても有名。

- 年間イベントスケジュール
- エッセイ「目の付けどころ」梅田恵以子
- 中上健次の遺志を受け継ぐ 熊野大学
- 演劇「オグリ伝説～いにしえの熊野古道物語～」から

創刊号

2003.5

## 谷村新司コンサート

協賛：トヨタ自動車株式会社

見逃せない！区切りのツアー



TOYOTA Presents  
LA STRADA VI  
宝石心  
SHINJI TANIMURA  
CONCERT TOUR 2003

**6/18(水) 19:00~**  
県民文化会館大ホール  
6,500円

31回目となる今回のツアータイトルは「宝石心」。多彩な音楽性が多くのファンを魅了、いつも何かに挑戦し続ける谷村新司が、全国ツアーをいったん休業する決断をした区切りとなるステージです。ポップスコンサートでは、その思いを込めた歌声が届きます。

## 第28回歌舞伎鑑賞教室

解説付きで本格芸能を楽しむ



**6/20(金) 14:00~**  
県民文化会館大ホール  
2,000円(当日500円増)

今年は歌舞伎の発祥ともなった「かぶき踊り」が始まって400年目。「歌舞伎・その美と歴史への招待」をテーマに、中高生を対象に古くから人々を楽しませてきた魅力を実演を交えて分かりやすく解説。平家女護島「俊寛〜鬼ヶ島の場」を鑑賞します。

## ウィーン室内管弦楽団

協賛：花王株式会社

仲道姉妹が演奏に華を添える



**7/3(木) 18:30~**  
県民文化会館大ホール  
7,000円~3,000円

音楽の都ウィーンが誇る腕利きの楽士たちと、日本が誇る人気ピアニスト仲道郁代・裕子姉妹デュオが共演。演奏曲にはモーツァルトの「2台のピアノのための協奏曲」がラインナップされ、音楽性が高い両者がお互いの魅力を存分に引き出す華やかなステージです。

## ビッグ「サマーフェスタ2003」

今年も楽しいイベントが満載



**8/9(土)**  
和歌山ビッグホエール  
無料

すっかり恒例になったサマーフェスタ。迫力いっぱいの邦楽フェスティバルや、県内のアマチュアバンドによる元気いっぱいの野外コンサートなど、今年も多彩なイベントが満載です。さらに大好評のライトアップイルミネーションも同時開催します。

## 稲川淳二の「怪談ナイト」

まさに真夏の夜にぴったり



**8/11(月) 18:30~**  
県民文化会館大ホール  
4,000円

独特な個性をたずさえた稲川淳二が「真夏の夜の風物詩」と題して繰り広げるミステリーなひととき。一度は体験してみたい怪談の世界、身の毛もよだつ怖い話、そして奇怪で不思議な話をたっぷり。まさに真夏の夜にふさわしいスリリングなステージです。

## ボヘミア・オペラ「椿姫」

名門オペラ座がおくる世界の傑作



**9/4(木) 18:30~**  
県民文化会館大ホール  
12,000円~3,000円

世界中で最も知られたヴェルディの純愛オペラ「椿姫」は、まさにオペラの代名詞。けなげで一途な女性の愛の姿を描いたストーリーを、高い芸術性をもつチェコ国立ブルゼーニウ歌劇場が美しく演じます。音楽と歌、演技、美術が一体となった華やかなステージです。

## 優秀映画鑑賞会

懐かしの名作を再び上映



**9/8(月) 10:00~**  
県民文化会館小ホール  
500円

昭和20年代~70年代にかけて製作された日本映画の中から、映画史を代表する作品や、好評を博した作品4本を選び上映します。今は見ることができない大物俳優の名場面等、懐かしの作品を鑑賞します。上映予定作品「嵐を呼ぶ男」「悪名」「雀掛時次郎 遊侠一匹」「人生劇場 飛車角と吉良常」

## 第31回和歌山県新人演奏会

個性あふれる音色を披露



**9/15(祝) 13:00~**  
県民文化会館大ホール  
500円

大学院、大学などで音楽を専攻し、平成13年度または14年度に卒業した人々による演奏会です。声楽、器楽、作曲、邦楽の各ジャンルでのオーディションを通過した新人演奏家たちが、それぞれの実力を発揮した自慢の音色を会場いっぱいに響かせます。

## 日露交歓コンサート

本物の音楽に触れるひととき



**9/23(祝) 15:00~**  
県民文化会館大ホール  
無料

ロシアと日本の両国が協力して実現した、質の高い音楽を披露するコンサートです。当日はピアノ、バス、ヴァイオリンなどバラエティに富んだ演奏ジャンルで、多彩なプログラムを展開。世界で活躍する一流のアーティストが本物の音楽のすばらしさを届けます。

## スペシャル オータム ジャズコンサート

山下洋輔 & 渡辺香津美 & 宮本文昭トリオ



**10/22(水) 19:00~**  
県民文化会館大ホール  
4,500円

ピアニスト・山下洋輔、ギタリスト・渡辺香津美、オーボエ奏者・宮本文昭の3人によるジャズセッション。それぞれの個性を生かした息のぴったり合ったトリオによるジャズの醍醐味をたっぷり。ジャズ独特のグルーブ感を感じてみませんか。

## 劇団四季ミュージカル「アンデルセン」(予定)

### 華やかなショーで彩る青春物語



前回公演より

11/25(火)18:30~(予定)  
県民文化会館大ホール  
8,400円~3,150円(予定)

世界の童話作家アンデルセンの青春ストーリーに、有名な5つの童話を織り交ぜた、劇団四季の人気レパートリー。公演ごとにショーアップされ成長を続けている作品で、ジャズダンスの味わいとクラシックバレエの優雅さを楽しむステージです。

## レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」

### 伝統あるバレエ団が美しく表現



1/16(金)18:30~(予定)  
県民文化会館大ホール  
13,000円~5,000円(予定)

160年の歴史と伝統に輝く名門「レニングラード国立バレエ」が演じるコル・ド・バレエの優美なステージ。クラシックバレエの名作中の名作を、名門バレエ団が初演当時の作品の雰囲気損なわないように古典に忠実に再現。本場の舞台をお届けします。

## 狂言鑑賞教室

### 初心者も気軽に狂言を楽しもう



1/19(月)  
県民文化会館小ホール  
3,000円(予定)

日本が誇る伝統芸能「狂言」の魅力を存分に楽しむことができる教室です。初心者にも分かりやすい解説で「狂言」の見どころや鑑賞のポイントをとらえるので、気軽に参加することができます。解説のあとは本格狂言をたっぷり鑑賞します。

## エリック・ベルショ ピアノ・エレガンス

### 軽やかな指先が奏でる世界の音楽



1/28(水) 19:00~  
県民文化会館小ホール  
3,000円

世界で活躍する名ピアニストが、ポップスやシネマ、クラシックミュージックなど多様な曲目を奏でます。コンサートピアニストとして、オーケストラのピアノ奏者として広範囲な活動を続けるエリック・ベルショ。今回のリサイタルではバラエティの豊富さに注目を。

## ロビーコンサート

### 地元の音楽家が熱く奏でる



12月・2月 18:30~  
県民ギャラリー 整理券

地元和歌山で活躍している音楽家たちの、個性あふれる演奏を身近に楽しむことができるコンサートです。ロビーで演奏されるので迫力も満点、音色の美しさを体中に感じることができます。

## 庶民の笑いの芸能文化に触れた



# 狂言鑑賞教室



去る3月14日に開催された(財)和歌山県文化振興財団主催の「狂言鑑賞教室」。当日は狂言師の茂山千三郎さんが舞台上に小学生を迎えて狂言を指導し、まったく狂言を知らない人にも分かりやすく解説されました。その後、「二人袴」、「清水」、「梟」が演じられました。

### 茂山千三郎さんに聞く

— 最近観客に若い世代も目立っているようですね。

茂山 ええ。まったく狂言を見たこともない世代が新鮮な気持ちで見てもらえているようです。狂言は笑っちゃいけないと思っている方が非常に多くて、初めて舞台を見て、笑ってらっしゃる観客に驚く人もいらっしゃいますね(笑)。

— そんなに難しい内容のものではないですし、親しみやすい人物がよく登場するのも魅力ですね。

茂山 明るくユーモアがあって、観客の心をつかむ登場人物が多いですね。悪人もいませんし、舞台を見て元気になれたと言っていた方も随分多いですよ。もちろん伝統やしきたりがありますが、狂言に関する先入観がない小学5、6年生くらいの子どもが本当はおもしろさを純粋に分かってくれるのかも知れません。若い世代に受け入れられることは非常にうれしいことです。現在では使わない古い言葉を使ったりもしますが、舞台では時代に合った柔軟な表現力が求められます。狂言自体が変わらなくても、伝える方は今の時代を背景にまわっていると。狂言は伝承されていく古い文化でありながら、現在にも通じるところが随分あります。時代を越えて見ていただける新鮮な狂言をこれからも演じていきたいですね。

今の世の中の人に  
喜んでもらえる  
狂言を



茂山 千三郎

しげやませんぞぶろう

1964年9月4日生まれ。4世茂山千作の三男。1967年「業平餅」の童(子方)で初舞台。1999年「京都府文化奨励賞」受賞。

好きな狂言  
千鳥 察化 萩大名

## 感想小箱

## Impressions

### 狂言鑑賞教室で、舞台上に立ちました！

2月に、学校の学習発表会で狂言『蝸牛』を演じて、それから狂言が好きになりました。今日は茂山千三郎先生に舞台上で教えていただいて、とても緊張しましたが、貴重な経験ができました。ゆっくりとした動作が難しかったのですが、とても分かりやすかったです。これからもみんなで狂言を学んでいきたいです。(和歌山県金屋町 早月小学校5年生6年生の皆さん)

### 子供の頃の素直な心に帰り、声を出して笑いました

以前から狂言に興味はあったのですが、なかなか鑑賞する機会がなく、今回県民文化会館で上演されると聞き、母と出かけました。小学生が実際に舞台上にあがって狂言の動きを披露してくれた場面もあり、ただの受け身の鑑賞会でなくて、とっつきやすかったです。また、解説者の軽快な喋りも楽しめました。どの演目も、声を出して笑いました。(和歌山市新高町 Y.N)

## 目の付けどころ ESSAY

梅田 恵 以 子

1931年4月11日大阪市生まれ。帝塚山学院短期大学文芸科卒業と同時に歌集『二十一歳』を出版。1945年戦災で和歌山に転居。紀州人として文化面で活躍し、随筆をふるい続けている。『紀州ふるさとの歌づくり』で、1990年サントリー地域文化賞を受賞。平成14年度和歌山県文化賞受賞。



梅田さんが最近“ときめいた”版画家・南村透氏(平成14年度和歌山県文化奨励賞受賞者)の「ROsea」間接技法の最先端であるデジタルと写真を組み合わせて、ファンタスティックな世界を表現

目の付けどころ。地図は読む。木は水の貯金箱。円山応挙の幽霊。循環。水は資源。

小学校で習って興味があったこと。

昭和十三年入学、その後六十余年、私の心の中で生き続けている。

六年生になると毎週月曜日の一時間目が校長先生の時間だった。「目の付けどころ」、先生のこの言葉で授業が始まる。ニクラス七十余名がそれを唱和した。

これはものを見る視点、観点を言うのだと気がついていたのは二十歳を過ぎていた。

三人の子育て、主婦をしながら物書き人生に挑戦しようと思った時、「目の付けどころ」が蘇った。観点を変える。発想の転換。女の視点で。

物事を苦しめない(本当は苦しんでいるのだが、顔に出さない)。仕事が速い。まず行動をする。思いついたら走る。走りながら考えて書く。毎日書き続ける。

継続は力だ。昔の人はいい言葉を残してくれている。時間を大切に。気が付いたら七十歳を過ぎていた。気にしていない。いろいろ見えてくる。しかしまだ知らないことがたくさんある。本を読む、人に話を聞く。

「学んで己の無学を知る これを学ぶという」。川端康成がよく揮毫(きごう)したという。知らないことを知るときにときめきがある。

## 伝統文化を地元活性化に 次世代に引き継がれる「和歌祭」

和歌浦は万葉の時代から景勝地として知られ、観光地として繁栄しましたが、近年では厳しい状況を迎えています。そうしたなか地元の有志が中心に集まり、伝統文化である「和歌祭」を復活・継続させて地元の活性化に繋げようと活動しています。

和歌祭は紀州東照宮の大祭の渡御の呼称で、江戸時代の元和8年(1622)から始まり、紀州の武勇を示すものや紀州人の心意気を表現した行列が神輿に従い町中を練り歩きます。この祭りを将来の子々孫々へ受け渡そうと昭和60年に「和歌祭保存会」が発足。平成12年にはついに地元和歌浦で和歌祭再開を果たしました。

和歌浦保存会の垣内良則さんは「今年は5月18日に開催が決定しました。この伝統的なお祭を絶やさず、将来に継承していこうと幅広い参加者を呼びかけています」と話し、同会の田村友二さんも「和歌山の人々の文化意識の高さを示していければ」と和歌祭継続に熱意を見せます。 **和歌祭ホームページ** <http://www.wakamatsuri.com/>



神輿は紀州東照宮の石段を下りて町中を練り歩きます

### けんぶんプレイガイド情報

TEL.073-436-1331

“人 うた 心”  
**川中美幸 オンステージ2003**  
 「ふたり酒」「二輪草」「大河の流れ」  
 新曲「貴船の宿」  
 6月14日(土) 和歌山県民文化会館大ホール  
 14:30 ~ 18:30 ~  
 S席7000円(当日500円増)【全席指定】  
 (株)タニガワ企画 073(436)4468

津軽三味線  
**吉田兄弟全国ツアー2003**  
 “LIVE FRONTIER”  
 6月23日(月) 和歌山県民文化会館大ホール  
 18:30 ~  
 S席6000円(当日500円増)【全席指定】  
 (株)タニガワ企画 073(436)4468

**NHK交響楽団 和歌山公演**  
 指揮者 尾高忠明  
 ピアニスト ルカーシュ・ヴォンドラーチェク  
 8月24日(日) 和歌山県民文化会館大ホール  
 15:00 ~ S席5500円、A席5000円、  
 B席4000円、C席3000円(全席指定)  
 前売り開始 6月21日(土) 午前10時 ~  
 06-4860-8600(ハローダイヤル)

## 熊野大学 [新宮市]

## 創設者・故中上健次氏の遺志を受け継ぎ霊地・熊野から文化を発信

「熊野とは何か」「熊野とはどこか」。新宮市出身の芥川賞受賞作家で、世界的にも多くの注目を集めた故中上健次氏が、これらを問い続ける場として、また“熊野学”の拠点として創設したのが、文化組織「熊野大学」です。中上氏の死去後11年になる今も、その遺志を受け継いだ地元新宮市の有志らが中心になり運営を継続、中上氏の作品と人物をあらためて問い直す場として、霊地・熊野をステージに多くの人々へメッセージを発信しています。

1989年、中上氏は「校舎も試験もないが、人に対して無限に優しい熊野の思想を明らかにし、精神に関する最高の学問の場としたい」と熊野大学構想を表明、大学準備講座を発足させました。「誰もが個人の名において自由に平等に学び合えること」を原則とし、熊野速玉大社の双鶴殿などを会場に毎月、日本文化論である「いのちとかたち」の輪読と俳句会を併せた連続講座を開催。これを前身として1990年に熊野大学が開校。さらに作家や美術家、俳優など様々な文化活動を行う人々を招いたイベントも企画開催してきました。

大学の黒柱であった中上氏はガンの手術を受けるために東京へ行く白浜空港で、「俺がいなかったら何もできない熊野大学はナンセンス。これまでの活動を否定することになるからよ。オール・オア・ナッシングは無しやど」と言ったといひます。

1992年に中上氏の死去後は準備講座から活動を共に

してきたメンバーたちがこの言葉とともに、大学の構想、創設の熱意をそれぞれに心に刻み、また遺産ともいえる多大な人脈をもとに活動を絶やすことなく取り組んでいます。

同大学のイベントとして、年1回開催される夏期特別セミナーには、全国から著名な評論家や作家、文化人をゲストにシンポジウムを行っています。幅広い年齢層の支持があり、毎回60人~100人が参加。今年は8月1日(金)~3日(日)に新宮市の高田グリーンランドで、文芸評論家の高澤秀次氏、京都大学助教授で文芸評論家の浅田彰氏らを講師に、中上氏が意識していたという米国の作家フォークナーをテーマにディスカッションする予定です。

熊野大学ホームページ <http://wakayama.co.ol.ne.jp/kumanodai-gaku/>



1991年4月7日、熊野大学での受講生を前に俳句の講義する宇多喜代子さんと故中上氏(成林寺で)



熊野大学開校式 1990年6月3日、西村記念館で行われた熊野大学の開校式で、創設者の故中上健次氏を囲んで記念撮影。式には地元の方々が大勢参加しました

2002年8月に開催された  
夏期特別セミナー

左より高澤秀次氏(文芸批評家、中上健次全集年譜制作者)、浅田彰氏(京大助教授、文芸批評家)渡部直己氏(近大助教授、文芸批評家)

若いエネルギーを等身大に表現 多くの人々に広がる熊野の精神

## 高野・熊野世界遺産登録推進公演 演劇「オグリ伝説～いにしへの熊野古道物語～」から

自分たちが体感した熊野。それを同世代の人たちに訴えたい。そして多くの仲間をつくりたい。3月25日、県民文化会館で県内の高校生らが、熊野古道の神秘的な自然を背景に歴史や文化の伝承を蘇らせた作品を等身大に表現した演劇「オグリ伝説～いにしへの熊野古道物語～」が開催されました。

この演劇は3年前から紀南地方で始まり、今回、和歌山市での公演が実現。公演に携わったメンバーは不登校に悩んだ生徒など実にさまざま。入学、卒業とともに少しずつ入れ替わる仲間とともに、一人ひとりがお互いを



受け入れ、協力し合い熱心に取り組みました。

出演者は役作りのために実際に熊野古道を歩き、地元の人たちの人柄や美しい自然に触れながら、作品テ

ーマでもある「癒しの道としての熊野古道」を知るとともに、「先祖の素晴らしさ、偉大さ」を生徒それぞれが純心な気持ちで体感したといえます。

小栗判官、照手姫をはじめ、登場人物すべてに重要な役割があり、演

じる熱意が観客に伝わった演劇でした。演劇が終わった後、出演者らは観客へのあいさつで言葉を詰まらせる場面も。出演者と観客が一体となった熱い感動が会場を包みました。10代のエネルギーが感じとった熊野の精神。そのパワーが全開した今回の舞台から、年月を経ても受け継がれる熊野の魅力が、さらに幅広い世代の人々に広がりつつあります。



## きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞 — 受賞者紹介

きのくに芸術新人賞 サクソフォーン奏者  
田中靖人 (たなかやすと)

平成15年3月に「きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞」受賞記念発表会が行われました。受賞された6人を毎号一人ずつ紹介していきます。

受賞に際して「懐かしい生まれ故郷での受賞を光栄に思っています」と、爽やかな笑顔の田中さん。ソロ活動をはじめ室内楽、オーケストラなど幅広いジャンルで演奏活動を展開しています。「ジャンルにとわられない演奏を目指しています」と言う田中さんの音楽性は、「内的な詩をもつ大器」として国内外から絶賛、大きな注目を集めています。

音楽に興味がない人たちを前に、その楽しさを訴える演奏にも取り組みました。

「特に音楽を知らない小さい子供たちなどが僕の演奏を聞いてくれて、音楽に親んでもらい、将来、演奏家になりたいと思ってもらえることも僕たちの仕事じゃないかなと思っています。子供たちを集めた演奏会を開いてみたいとも考えているんですよ」



経歴 / 昭和39年和歌山市生まれ、千葉県在住  
国立音楽大学在学中に日本打楽器コンクールで部門1位を獲得、華やかにデビュー。現在、CDリリースをはじめ、室内楽のジャンルでは「トルヴェール・クワルテット」で活躍。東京佼成ウインドオーケストラ団員。昭和音楽大学講師。

## (財)和歌山県文化振興財団施設

(財)和歌山県文化振興財団は、「県民文化会館」、「和歌山ビッグホエール」、「県民交流プラザ和歌山ビッグ愛」を拠点に、より質の高い国内外の伝統文化、芸術文化に触れる機会を提供するなど、文化振興に取り組んでいます。



### 和歌山県民文化会館

**大ホール**  
座席数 1998席(車椅子席9席)  
舞台 間口21.5m×奥行17.7m×高さ8m

**小ホール**  
座席数 406席(車椅子席4席)  
舞台 間口13.9m×奥行7.8m×高さ4.6m

**施設概要**  
会議室  
特別・特設・大・中・小19室  
収容人数18~120人程度

リハーサル室  
和室(茶室)  
県民ギャラリー 大・中・小展示室  
駐車場 収容台数485台

〒640-8269  
和歌山市小松原通1-1  
TEL.073-436-1331



### 和歌山ビッグホエール

**メインアリーナ**  
収容人数 最大8500人  
固定席 2980席  
電動可動席 2080席  
移動席 3440席

**施設概要**  
長円形 横80m×縦44m(3280㎡)  
天井高 21m~17m  
床面 フローリング  
軽運動場 縦27m×横15.6m×高さ4.1m(420㎡)

会議室・特別室  
更衣室 男女各1室(56㎡)  
シャワー室 男女各7ブース  
駐車・駐輪場 駐車場700台 駐輪場100台

〒640-8319  
和歌山市手平2丁目1-1  
TEL.073-435-5200



### 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

**施設概要**  
大ホール 定員300人 342㎡  
展示ホール 454㎡  
会議室 大・中・小13室  
定員18~90人程度  
特設集会室 定員200人 244㎡  
駐車・駐輪場  
駐車場 乗用車290台・バス5台  
駐輪場100台

〒640-8319  
和歌山市手平2丁目1-2  
TEL.073-435-5200



### 企業メセナ協議会 「助成認定制度 相談窓口」を開設

企業メセナ協議会は2003年4月1日より、芸術文化活動への企業や個人からの寄付を促進する「助成認定制度」を全国規模で展開するために、各地の主要な文化関連施設機関に「相談窓口」を設置しました。和歌山県では和歌山県文化振興財団企画課内に「相談窓口」を設置し、問い合わせに対応するとともに、パンフレットや申請用紙を常備しています。

【問い合わせ】和歌山県文化振興財団企画課 TEL.073(436)1331

#### 助成認定制度とは...

特定公益増進法人である企業メセナ協議会を通じて芸術文化活動への寄付を行うと、寄付者に対する税制上の優遇措置が図られる制度です。

#### 社会法人企業メセナ協議会とは...

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の増進を目的として、1990年2月に発足した公益法人。主に企業メセナについての(1)啓発・普及(2)情報集積(3)調査・研究(4)顕彰(5)国際交流(6)助成を行っています。

会長・福原義春 会員数・約200社・団体  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン13階  
ホームページアドレス <http://www.mecenat.or.jp/>

ワカフ  
Wacaf

感動空間 ♥ 文化で元気!!

「ワカフ」とは、和歌山県文化振興財団（Wakayama Culture and Arts Foundation）の英字標記から採った名称で、当財団の行っている文化活動を広くみなさまに知っていただくためにつけた名称です。「感動空間 ♥ 文化で元気!!」は経済不安から停滞モードで閉塞感のある現代社会において、文化によって精神面から活力を取り戻し、「心ゆたかな」生き活きとした「真に生きる喜びを実感できる社会生活」を目指して「感動空間 = 心、みんなで文化に親しみ、共に元気になりましょう!」という意味のテーマです。

Present

谷村新司コンサート

6/18(水)  
県民文化会館大ホール



ペア2組

ウィーン室内管弦楽団 & 仲道郁代、仲道祐子

7/3(木)  
県民文化会館大ホール



ペア3組

ご希望の方はハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、希望チケット名・文化情報誌「Wacaf」で最も良かったと思われる記事をご記入のうえ、ご応募ください。  
締切日 平成15年5月12日(月) 必着  
5月14日(水)に厳選な抽選により当選者を決定し、当選者にはお電話にてご連絡します。

特典いっぱいの  
「けんぶん友の会」に  
入会しませんか!

ご入会いただいたその日から、県文化振興財団主催事業の割引料金適用や先行優先予約、電話予約がOK!文化情報誌「Wacaf」をご郵送。入会金なし、年会費2,000円 お申し込み・お問合せは 県民文化会館1F事務所内「けんぶん友の会」TEL.073-436-1331まで

スカイダイニング  
**TWIN BIRD**  
ツインバード

地元和歌山の食材にこだわり、毎朝仕入れる旬の食材を使った料理はどれもオリジナリティあふれる逸品ばかりを集めました。旬の味覚をカジュアルにおしゃれにお楽しみいただけます。

ランチタイム/11:00~14:00 [オーダーストップ13:30]  
ディナー&パーティー/18:00~22:00 [オーダーストップ21:00]  
※貸切の場合もございますのでご容赦願います。

**\*ランチコース\***  
¥1,000~ (税別)

前菜・パスタ・パン・コーヒーor紅茶or  
ハーブティー・デザート

**\*ディナーコース\***  
¥2,500~ (税別)

前菜・パスタ・魚料理・パン・コーヒーor  
紅茶orハーブティー・デザート

**本格的パスタを  
ご賞味下さい。**

イタリア直輸入のパスタ  
マシーンを導入しました。

**和歌山の食材!  
海の幸・山の幸**

地元和歌山の新鮮な食材を  
使用しています。

**フレッシュ  
ハーブが自慢**

自社ハーブ園の採れたてを  
使用しています。

**「ウェルネス」が  
基本**

自然素材を使い、  
健康重視のメニューです。

最上階で気軽に  
イタリアンを。

ご予約・お問い合わせは ホテルアバローム 紀の国 〒640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL.073(436)1200 <http://www.avalorm.com>

(株) 県民文化会館レストラン Phone(073)436-0265 (内線181)

やわらかい陽ざし、ささやく街路樹。甘い香りのティータイム...。ご観劇や発表会などのお待ち合わせ、お食事に大変便利です。また、30名様までのパーティなどにもご利用いただけます。ご予約を承っております。

ほんのひとつき、街を深呼吸  
くつろぎとやすらぎが  
溶けあっていく

大切なお客様をお迎えするにふさわしい豪華お部屋と、心のこめたおもてなし。70名様までの大宴会場と、会議室のご会食などにぴったりの20名様までの各会場がございます。お気軽にご利用くださいませ。

2F **Jorura**

6F **Jorura**

【発行日】平成15年5月

【発行】和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原1-1(和歌山県民文化会館内)

TEL.073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】<http://www.cypress.ne.jp/wacaf/>

【E-mail】[wacaf@cypress.ne.jp](mailto:wacaf@cypress.ne.jp) 【編集・制作】和歌山リビング新聞社